



東北大学グローバルCOE

第9回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

山下 理宇 博士

(東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門・准教授)

DNA配列情報からの転写・翻訳制御情報の バイオインフォマティクス

日時: 11月8日(木)17時30分

場所: 医学部5号館201号室

現在までの遺伝子解析研究は、コーディング領域に主眼が置かれ、その制御領域はあまり着目されていなかった。例えば、次世代シーケンサーを用いたエクソーム解析は、ゲノム上のわずか数%の領域を対象として解析している。しかしながら、最近のENCODE projectの論文によると、ゲノム全体の8割が何らかの意味を持つ可能性が示唆されており、その制御領域を含めて考えることが重要になってきている。本特論では、「遺伝子」という単語に着目し、その意味を改めて問い直してみることで、転写・翻訳制御解析について演者が関わってきた解析例を元に説明する。

参考文献

1. Yamashita R., Sugano S., Suzuki Y. and Nakai K. DBTSS: DataBase of Transcriptional Start Sites progress report in 2012. Nucleic Acids Res, 40(1), D150-4, Jan 2012.
2. Yamashita R., Sathira N.P., Kanai A., Tanimoto K., Arauchi T., Tanaka Y., Hashimoto S., Sugano S., Nakai K. and Suzuki Y. Genome-wide characterization of transcriptional start sites in humans by integrative transcriptome analysis. Genome Res, 21(5), 775-89, May 2011.

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 中山 啓子(内線8227)